

平成 18 年度 教師海外研修（派遣国： サモア独立国 ） 実践報告書

1. タイトル : サモアの文化  
 2. 氏 名 : 中村 孝子  
 学校名 : 大阪府立枚岡樟風高等学校  
 担当教科 : 農業科  
 3. 実践教科 : 食品デザイン  
 時間数 : 約 2 時間  
 4. 対象生徒・学年 : 高校 2、3 年次生（食品デザイン選択者）  
 対象人数 : 34 人  
 5. カリキュラム案

(1) 実践の目的

- ・サモアの食生活など、文化を紹介するとともに、日本の文化について深く考える機会を持たせる。
- ・サモアの子どもたちの考え方を伝え、自分たちの生き方について考える機会をつくる。
- ・サモアと日本の結びつき（サモアに対する日本の支援）について伝える。
- ・サモアでの環境問題への取り組みの状況を知らせる。

(2) 授業の構成案

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
研修前 テーマ:サモアへの関心を抱く。 ねらい:導入のためサモアについての興味を持たせる。	① 教師が、JICA の研修でサモアに行くことを告げる。 ② 「サモア」について知っていることを問う。 ③ サモアについて知りたいこと、サモアの子どもたちに聞いてみたいことを問う。	質問シート
1 時限 テーマ:サモアについて知る。 ねらい:サモアの自然の美しさ、サモアの伝統文化について知る。	① サモアクイズをする。 ② パワーポイントでサモアの景色、生活の様子を発表する。 ③ サモアクイズの答えあわせを通して、サモアの現状や文化を知らせる。 ④ サモアのお菓子や通貨など、現物を見せる。 (2 時限目に続く)	パワーポイント・地図・サモアクイズの用紙・ラバラバ(腰巻布)・サモアのお菓子・ノニジュース・サモアの教科書・通貨
2 時限 テーマ:サモアを身近に感じる。 ねらい:サモアでの環境問題への取り組みについて知るとともに、日本での環境問題について考える。	① サモアで、日本はどのように紹介されているか、サモアの教科書を用いて知らせる。 ② 日本がサモアに対してどのような援助をしているか伝える。 ③ サモアでの環境問題への取り組みについて紹介する。 ④ サモアの子どもたちを書いてもらったアンケート用紙と、同じ質問について考えさせる。 ⑤ サモアについてわかったことや感じたことを書かせる。	サモアでのスーパーの袋(生分解性のもの)
3 時限および時間外 テーマ:自分について考える。 ねらい:アンケートを通して、自分の生き方について考える。	① サモアの子どもたちの描いた、サモアを表現した絵、日本を表現した絵、最も大切なものを表現した絵をいくつか見せる。自分にとって大切なものは何かを考えるきっかけにしよう。 ② サモアの子どもたちのアンケート結果と、本校の生徒のアンケート結果を公表する。	サモアの子どもたちによって描かれた絵のコピー  パネル

その他、食品産業衛生・食品化学・食品実習(2.3 年次生選択者 94 人)、現代社会(1 年次生 42 人) 対象にも行う。

## 6. 授業の詳細と生徒たちの反応

### (1) 研修前 (7月末)

夏休みに JICA の研修でサモアに行くことを告げる。サモアについて知っていることを聞くと、どこにあるかわからず、アフリカにあるとイメージした生徒が多かった。

事前研修で聞いたこと、サモアでは若者の自殺率が高いことなどを話すと、生徒たちはとても関心を示していた。

サモアの子どもたちに聞いてみたいこと、何を持って帰ってきて欲しいか、などを以下のような質問シートに書いてもらった。

#### 質問シート

- ★1 「日本の文化を紹介するとしたら、どのようなものを紹介できる？又は日本のもので、何を持って行って見せたら、喜ばれると思う？」
- ★2 「サモアの青年に聞いてみたいことがあるら書いて下さい。学校に訪問した際に聞いてきます。」
- ★3 「中村へのリクエストは？」

#### 生徒の意見

##### ★1

日本のマンガ・携帯電話・こま・浴衣・着物・金魚すくい・シャウエッセン・シャボン玉・うちわ・扇子・小さい扇風機・駄菓子・お守り・巾着袋

##### ★2

好きな食べ物は？・好きな料理は？・サモアで一番おいしい食べ物は？

どんな時が一番楽しい？・何をしているときに楽しい？・楽しく過ごすために何をしますか？・どんな遊びをしているか？・どんな遊びがはやっているか？

流行っていることは？・面白いことは？

幸せ？・元気ですか？

将来の夢は？・何になりたい？・大きくなったら何をしたい？

一番好きな風景は？

自分の国は好きですか？・どこの国に行ってみたいか？

日本はどんなイメージがありますか？・日本と聞いて、一番に思い浮かぶことは？

子供はクラスに何人おるか？・学校楽しいですか？

紙が豊富にないのに、どうやって勉強しているの？

どんな家にすんでるの？・困ることは？

他の国のおしゃれはどんな感じか？

##### ★3

写真をとってきてほしい。

(きれいな景色・町の風景・海・夕日の海・家・学校・主食・毎日先生が食べた物・動物・美人)

流行食、どんなご飯を食べてるか知りたい。

納豆を持って行って、食べられるかどうか試してほしい。

自殺の原因を調べてきてほしい。

お菓子をを持って帰ってほしい。

珍しい乾物をを持って帰ってきてほしい。

貝を拾って来てほしい。

アクセサリーがほしい。

サモアで一番有名なものを見たい。

## (2) 1時限 (夏休み明け)

生徒たちの夏休みの思い出を書いてもらいながら、コミュニケーションをとる。サモア研修の概要を説明した後、本時はサモアについての学習をすることを伝える。

- ① まず、サモアについてどんなことを知っているかをチェックするために、サモアクイズを解いてもらう。
- ② 答えあわせをする前に、地図を使ってサモアの大まかな位置を知らせた後、パワーポイントを使ってサモアの様子を紹介する。
  - ・サモアのイメージ
  - ・サモアの家
  - ・サモアの主食 (タロイモ・パンノキなど)
  - ・ウム料理
  - ・ノニジュース
  - ・輸入食品
  - ・学校の生徒たち
  - ・サモア人とダンス
  - ・町の風景 (市場・マクドナルド・刺青屋・バス・制服など)
  - ・サモア人の楽しみ
  - ・サモアでのゴミ処理について

その他、生徒から寄せられた質問について答える。

- ③ サモアクイズの答えあわせをする。

サモアの面積や人口を知る前に、まず今住んでいる大阪府の面積や東大阪市の人口について確認する。

サモアの通貨も見せる。

主食の説明をする際、サモアのお菓子 (タロイモチップス・パンの実チップス・バナナチップスなど) を見せる。サモアでの食生活についても説明する。

サモアのゴミ処理法について簡単に説明する。

### 生徒の反応

サモアの海の景色を見せたとき、その美しさに、生徒たちはドーと歓声を挙げていた。豚をしめているシーンで、「かわいそう」という声が挙がったので、「なぜそう思うか」また、「自分たちが食べている肉は、果たして誰が屠殺しているのだろうか」と問いかけると、ため息混じりの反応が返ってきた。

サモアを知る前に、まず、自分たちの住んでいる大阪や日本のこと (面積や人口) を知らないでいたことに、気づいた様子であった。

## (3) 2時限 (1時限との連続授業)

1時限目に紹介したものを、更にじっくり見せる。

- ・ノニジュースやサモアのお菓子の試飲・試食。
  - ・ラバラバの着用の仕方を説明。
  - ・サモアの通貨のデザインを観察する。⇒「日本の5円玉のデザインは?」と問いかける。
- ① サモアの教科書を紹介  
サモアの小学校で使われている教科書のコピーを配布し、日本がどのように紹介されているかを見てもらう。
  - ② サモア大学の紹介、JICAの活動の紹介
  - ③ SPREFの活動を紹介  
サモアのスーパーマーケットでもらった袋 (分解可能なもの) についての説明もする。
  - ④ サモアの子どもたちを書いてもらったアンケート用紙と、同じものを渡し、生徒たちにも質問について答えてもらう。(日本語訳もつけておく)
  - ⑤ 本時(1.2時限)のまとめをし、感想を書いてもらう。

## 生徒たちの感想

- ・家に窓がなくて、泥棒とか入らないのかなと思った。
- ・サモアの海はきれいやった。1回は行ってみたい。
- ・写真がとともきれいだっただ。もっと見たいです。
- ・色々知れたから、よかった。
- ・サモアがどんなところか知れて、また知識が増えた。
- ・知らない国の文化が知れて、おもしろかった。
- ・全然知らんことばかりやった。日本とは全く違ってました。
- ・全然知らなかったけど、いろんな話を聞いて、わかってよかった。
- ・すごく楽しかった、また見たい。
- ・もっと詳しく聞きたかった。
- ・サモアってまずしそうなイメージしてた。
- ・アジアにあると思ってた。海がとってもきれいで感動した。
- ・マサイ族系統かと思ってた。結構都会系？
- ・想像していた国とは全く違ってて、驚いた。
- ・もっと何もない所と思ってたけど、色々あってびっくりした。もっと、他の国の事の付いても知りたいと思った。
- ・ブタがかわいそうに思えた。
- ・ブタを殺すて嫌やあ。でもメチャきれいやなあ。行ってみたい。
- ・生きものを殺す学生はすごいと思った。
- ・ノニジュースはくさかった。

### (1) 3時限および時間外

① 3時限の最初約10分間、サモアの子どもたちに描いてもらった絵を紹介。

- ・サモアを表現した絵
- ・日本を表現した絵
- ・最も大切なものを表現した絵

「あなたなら何を描きますか。」と問いかける。

② 文化祭(10月)の当日、サモアの子どもたちのアンケート結果と、本校の生徒のアンケート結果をパネルに貼り展示。

## 周囲の反応

授業を受講していない生徒や、他の教職員、来校者にもサモアについて知ってもらう機会があり、質問や感想を受けることができた。

アンケート結果に関しては、生徒たちの感想をまだ聞くことができていない。

## 7. 所感

当初は人権学習会を実践しようと考えていたが、それは実現できなかった。自分の担当の授業、特に「食品デザイン」の中で実践することを主として考えたが、できるだけたくさんの生徒にサモアのことを伝えたいと思い、他の科目でも同様の形式で実践した。ただ、何名か重複している生徒がいたので、内容は少しずつ変えた。彼らにとっては、新鮮みがなくなったようであったが、たくさんの生徒に、サモアのことを知ってもらえたのは良かった。縁があつて、1年次の現代社会の中で授業をすることもできた。1時間しかなかったため、少し消化不良だったが、生徒たちは熱心に聞いてくれた。参加してもらった教員からも「とても楽しい授業だったので、もっと多くの先生に見てもらえばよかったのに。」とのコメントをいただいた。勉強嫌いの生徒たちが、知ることの楽しさを味わってくれたことは嬉しいことである。また、もっと知りたいという生徒も多かったので、今後も何らかの形でフォローしていきたい。

パソコン等、機器の取り扱いに慣れていなかったため、教材の準備には苦勞したが、せっかく作った教材なので、今後も活用していこうと思う。後期後半（1,2月）にも、このような授業ができる機会があるので、やってみようと考えている。教員を対象にした報告会も、是非、今年度中に実施したい。

なかなか思うように時間がとれず、今までのところ、サモアの文化を紹介するだけにとどまっており、「開発教育」という点では、つっこんだ内容ができなかったのが残念である。来年度も引き続き、改良して実践していこうと思う。また、青年海外協力隊員として派遣されている先生方ともつながりができたので、今後も情報交換をしていきたい。できれば、生徒同士での交流が図れたら良いだろうと考えている。